

第16回 地理ワークショップ 「災害の地理を考える」

社会科教員のためのワークショップ

国士舘大学地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、主として中・高の先生方を対象に、2001年度より「地理ワークショップ」を開催してきました。第16回にあたる今年度は、2016年7月30日（土）に開催します。

今年のテーマは、「災害の地理を考える」です。近年における相次ぐ大規模な災害の発生は、防災に対する社会的な関心を高めています。現在の学習指導要領においても、中学校の地理的分野、高等学校地理Aでは、自然災害や防災対策に関わる内容が盛り込まれています。災害・防災教育の充実は、地理教育の重要な課題になっているといえるでしょう。あわせて、地理学においてもこれらの研究の深化が求められていると考えられます。

そこで、今回の地理ワークショップは「災害の地理を考える」をテーマとしました。中学校や高等学校における災害・防災教育の現状と課題、大学における災害・防災研究の到達点などを学びながら、「災害の地理」のこれからを考えてみたいと思います。

- 1：テーマ 「災害の地理を考える」
- 2：内容 下記のプログラムをご参照ください
- 3：対象者・条件 高校の「地理」、中学の「社会」担当教員など30名程度。
※先着順で受け付けます。
- 4：開催日時 2016年7月30日（土）
- 5：場所 国士舘大学 世田谷キャンパス
- 6：担当者 下記のプログラム（案）をご参照ください
- 7：参加費（教材費などの実費のみ。当日徴収します。） 2,000円
- 8：申込み方法と締切日。下記へ e-mailまたはFAXでお申込みください。

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

国士舘大学文学部地理学教室 岡島 建

FAX 03-5481-5278, E-mail : okajima@kokushikan.ac.jp

締切日：2016年7月15日

下記の点を明記して、E-mailまたはFAXにて申込先まで

- ① 氏名（読みにくい漢字にはふりがなを）、生年（西暦で）
- ② 勤務先、担当科目
- ③ 連絡先（郵便番号、住所、電話・FAX、E-mail ;
最終案内の送付先、緊急連絡先をお書きください）
- ④ 取り上げてほしい内容など、ご希望がありましたらお書きください
（ご希望に添えない場合もございます）
- ⑤ このワークショップの開催を何で知りましたか？
 - 1：国士舘大学地理学教室ホームページ
 - 2：日本地理学会ホームページ
 - 3：地理学評論
 - 4：雑誌「地理」
 - 5：地理教育研究会
 - 6：日本地理教育研究会
 - 7：クチコミ
 - 8：ダイレクトメール
 - 9：その他

●プログラム（予定）：

| | | |
|-------------|---------------------------------|-------|
| 9：30 | 会場受付開始 | |
| 10：00－10：10 | 開会の言葉・趣旨説明 | 宮地 忠幸 |
| 10：10－11：30 | 講義・1 湿润変動帯に位置する日本列島の自然災害の特徴 | 鈴木 毅彦 |
| 11：30－11：40 | 休憩 | |
| 11：40－13：00 | 講義・2 自然地理学教育とハザードマップを活用した身近な防災 | 鈴木 毅彦 |
| 13：00－14：00 | 昼食・休憩 | |
| 14：00－15：20 | 講義・3 「被災地教育」のすすめ方（その1） | 小関 勇次 |
| 15：20－15：35 | 休憩 | |
| 15：35－16：55 | 講義・4 「被災地教育」のすすめ方（その2） | 小関 勇次 |
| 16：55－17：00 | まとめ・閉会の言葉 | 磯谷 達宏 |

※ スケジュール等の詳細は、後日下記ホームページに掲載予定です。

申込書、記載事項については<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri> に掲載する案内をご覧ください。